

きょうは、第94回メーデーです。物価高騰による暮らしの危機と大軍拡による平和の危機の中で開かれます。

岸田文雄政権は安保3文書を閣議決定し、敵基地攻撃能力の保有と5年間で43兆円もの大軍拡を押し進めています。憲法を踏みしじり「専守防衛」を掲げ捨ててアメリカの戦争に参加する「戦争國家づくり」は、東アジアに戦火を招きかねない危険な道です。日本が先制攻撃すれば、相手国から報復攻撃され国土は焦土化します。戦争の準備を許してはなりません。

労働組合は平和の担い手
平和なへして労働組合運動はありませぬ。労働組合こそ平和の担い手でないければなりません。

主張

第94回メーデー

日本の労働組合運動は、第2次世界大戦で組合解散などに追い込まれた痛苦の経験があり、平和の課題を第一義的に掲げてきました。国際労働機関（ILO）は、第1次世界大戦の悲惨な教訓から、「世界の永続する平和は、社会正義を基礎としてのみ確立する

した。正規労働者には一層の長時間労働でゆとりを奪われていま問題密労働が強要され、「人道的な労働条件」はますますたにされまが強い、労働者・業者・国民の暮らしは苦境に立たされています。岸田政権は、コロナ対策にも物価対策にも無為無策です。それと

時間労働でゆとりを奪われていま個人消費は冷え込み、日本経済は低迷しています。日本共産党は大軍拡反対とともに、消費税減税と政治の責任での賃上げを求めています。大企業の内留保への課税による賃上げ支援、正社員化の促進、最低賃金の

しょう。「9条を生かした外交で平和を」「大軍拡でなく暮らしに税金を」「今こそ大幅賃上げ」「公共の再生を」などを掲げたたかいの先頭に立ちましょう。世界の人々と連携して世界の労働者と労働組合は、反戦・平和、大幅賃上げ、最低賃金引き上げ、年金改悪反対、間接税減税、大企業・富裕層増税などを要求し、大規模なストライキ・デモ・集会に立ち上がっています。団結の力が注目され、新たな労働組合の結成も進んでいます。

暮らし守り大軍拡を止めよう

ことができる（ILO憲章）という信念を裏現するために創設されました。

ところが、大軍拡のために国立病院機構の積立金や東日本大震災の復興財源まで流用しようとしています。

金の大幅引き上げ、残業規制などを握り、労働組合の運動と力を合わせています。

今年の中央メーデーは、4年ぶりにリアル開催で式典やパレードが行われます。コロナ禍での活動の困難を乗り越えて培ってきた団結の力を、メーデーに持ち寄りま

「社会正義」の根幹は「人道的な労働条件（ILO憲章）です。」「弱肉強食」の新自由主義によって労働法制の規制緩和と非正規雇用が

進められ、格差と貧困が広がります。今こそ労働者は、低賃金と最

今でも労働者は、低賃金と最

本へ道を切り開きましょう。